

その人ならではの魅力をカタチに
e g e n i k i
d e s i g n

デザインやものづくりを通じ 宇和島の「余白」を楽しむ



津島町御檜地区を拠点にロゴやリーフレットなどのグラフィックデザインを手掛ける「egeniki design」。デザイナーの児玉京子さんは、東京の美大を卒業後、商業施設の空間デザインなどにグリーンコーディネーターとして携わってきました。2011年に宇和島に戻り、市で広報の仕事をしながらデザイン業を行う中、2015年、結婚を機に本格的にデザイナーとして独立しました。

児玉さんがデザインをする上で大切にしていることは「クライアント自身を知ること」だと言います。その人も気付いていない魅力をくみ取りデザインに落とし込むことを心がけているそうで、その丁寧なデザインは多くの人を引きつけています。

また児玉さんは、地域の魅力をクリエイティブな視点で再発見することを目的としたプロジェクトチーム「Uwajima Creative Community」にも参加していて「本分でもあるものづくりで地域に関わって楽しい」と笑顔を見せます。「宇和島には、都会にはない、余白がたくさんある。デザインを通して、自分自身もその余白を楽しみたい」と話してくれました。